

資 料 編

「在宅介護実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」 調査結果(概要版)

この調査は、第 8 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定や今後の保健福祉施策等を検討する上での基礎資料として実施しました。概要版では、特徴のある回答等についてご報告させていただきます。アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

	在宅介護実態調査	日常生活圏域ニーズ調査
調査の対象者	町内に住む介護認定を受けている方	町内に住む 65 歳以上で介護認定を受けていない方
調査対象数	163 名	1,162 名
回答数(回収率)	107 名(65.6%)	871 名(75.0%)
属する世帯の状況	単身世帯(9.3%) 夫婦のみ世帯(25.2%) その他(61.7%) 無回答(3.8%)	単身世帯(15.3%) 夫婦のみ世帯(44.8%) その他(35.1%) 無回答(4.8%)

【介護認定を受けている方への調査結果(在宅介護実態調査)】

①主な介護者の状況(図1)

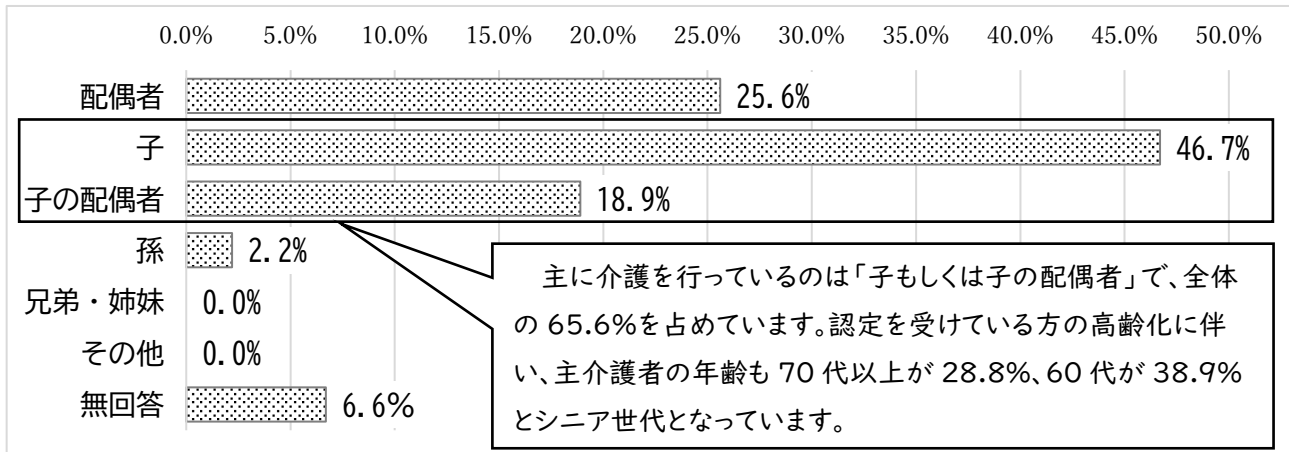


図1 主な介護者

<介護者が行っている介護の内容・今後不安に感じる介護の内容(図2、図3)>

現在、主な介護者の方が行っている介護の内容で多いものは、**外出支援に関すること(付き添い・送迎)**、**家事に関する事(食事・掃除洗濯等)**、**諸手続きの支援**でそれぞれ 7 割程度でした。一方で、**排泄の支援・着替えや入浴の支援**など身体的な支援については、概ね 2 割以下となっています。

また、主な介護者の方が今後不安に感じる介護については、**外出支援に関すること**、**排泄や入浴の介助・認知症への対応**が上位を占めています。**身体的な介護や知識が必要となる介護**についての不安があるようです。

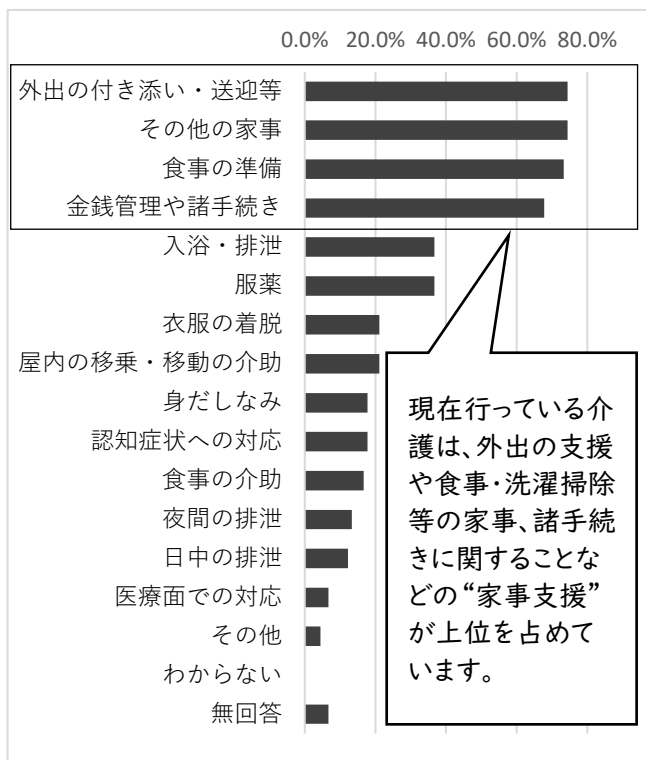


図2 現在行っている介護の内容

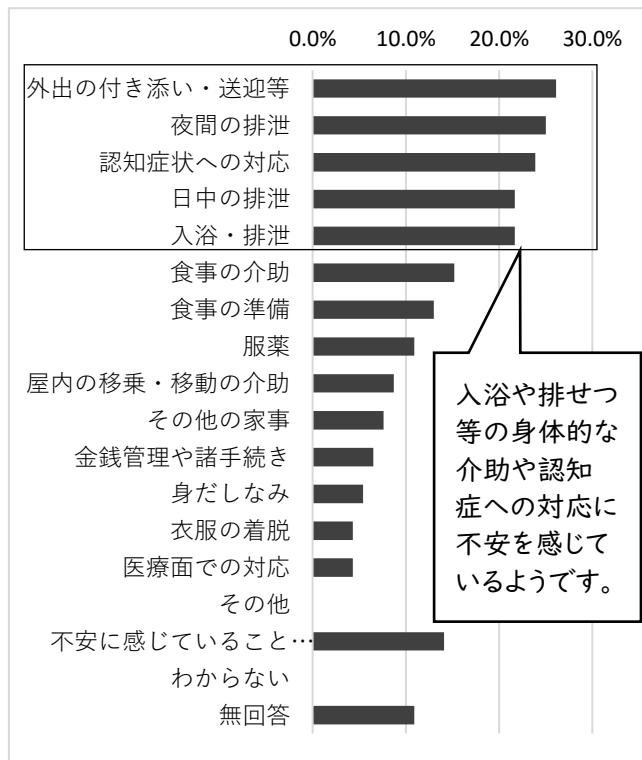


図3 今後不安に感じる介護の内容

②施設入所の検討状況に関すること

<現在の施設入所の検討状況(図4、図5)>

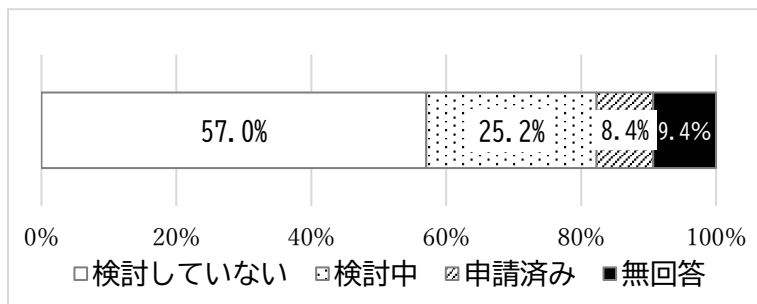


図4 施設入所の検討状況

介護認定を受けている方のうち、33.6%の方が検討中もしくは申請済みと回答し、施設入所を考えているようです。

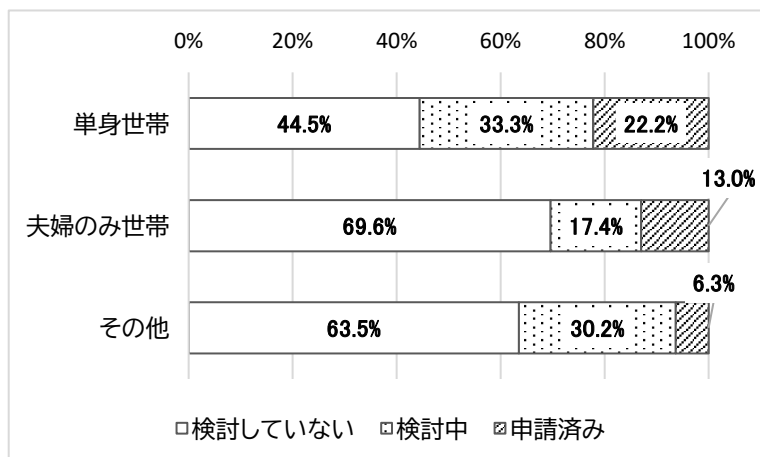


図5 施設入所の検討状況(世帯属性ごと)

世帯属性ごとにみると、単身世帯の方の55.5%の方が施設入所を考えていますが、夫婦のみ世帯・その他の世帯では40%以下となり、世帯構成での違いがみられています。

<施設入所を考えるタイミングや理由(図6、図7)>

ご本人が施設入所を考えるタイミングとしては「何かしらの介護の必要が出てきたら」「食事の準備が出来なくなったら」との回答が多く、比較的介護度が軽い状況から施設を検討しているようです。一方、主介護者が施設入所を考えるタイミングとして「介護の手間が多くなり、自分たちの生活が維持できなくなったら」との回答が半数以上ありました。

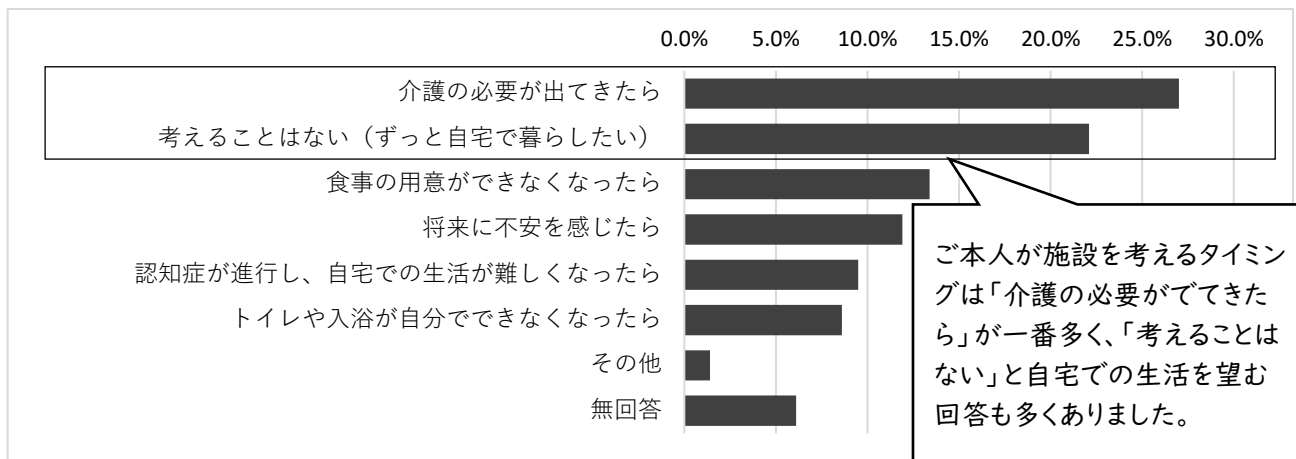


図6 どのような状況になったら施設入所を検討するか(本人)

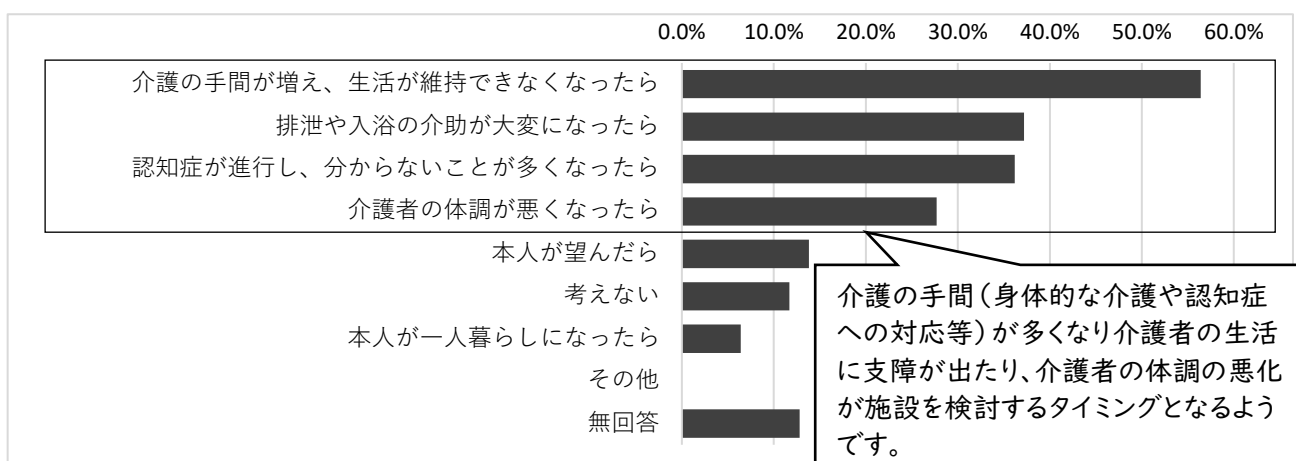


図7 どのような状況になったら施設入所を検討するか(主介護者)

【介護認定を受けていない65歳以上の方への調査結果(介護予防・日常生活圏域二区調査)】

①介護の必要性について

調査対象者は、要介護認定を受けていない人ですが、全体の13.5%が「現在、何らかの介護を受けている」「何らかの介護や介助が必要だが現在は受けていない」と答えており、在宅での生活が長く続くよう、介護サービス以外の支援を受けながら暮らしている方がいました。

②地域活動への参加状況について

<参加状況>

回答者の60.8%が何らかの地域活動(ボランティア、スポーツなどのグループや通いの場、自治会や仕事等)に参加していると答えていますが、回答者871名のうちすべての活動に参加していないと答えた方は2割程度いました。

<参加の意欲(図8)>

しかし、住民有志による地域の活動についての参加希望については、47.5%の方が「是非参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」と答えており、現在地域活動に全く参加されていない方の約2割の方が参加に前向きな回答をしています。

また、活動の企画・運営への参加についても、3割程度の方が参加に前向きな回答をしており、性別では男性の割合が多くみられました。

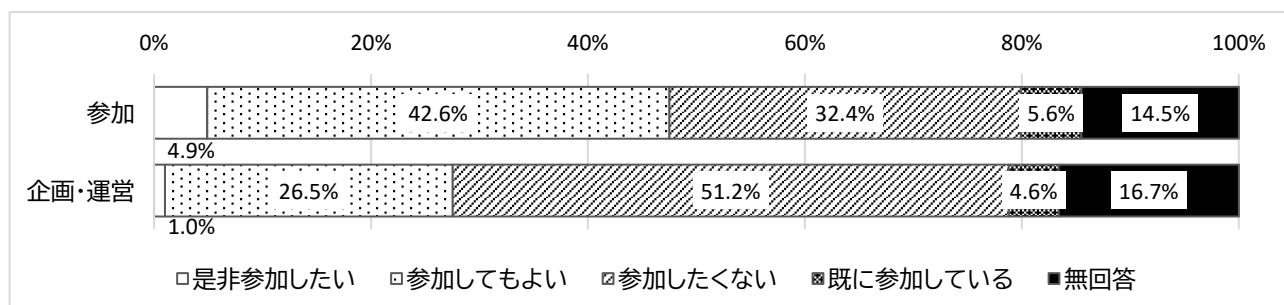


図8 地域住民の有志による健康づくり活動等の地域の活動への参加について

③健康状態と幸せ度(図9)

現在の健康状態を4段階で、幸せ度を10段階で答えていただきました。健康度は、「とてもよい」「まあよい」を合わせると77.2%の回答がありました。幸せ度は、多くが5点以上と回答し、健康状態をよいと答えた人ほど、幸せ度の点数も高く回答していました。

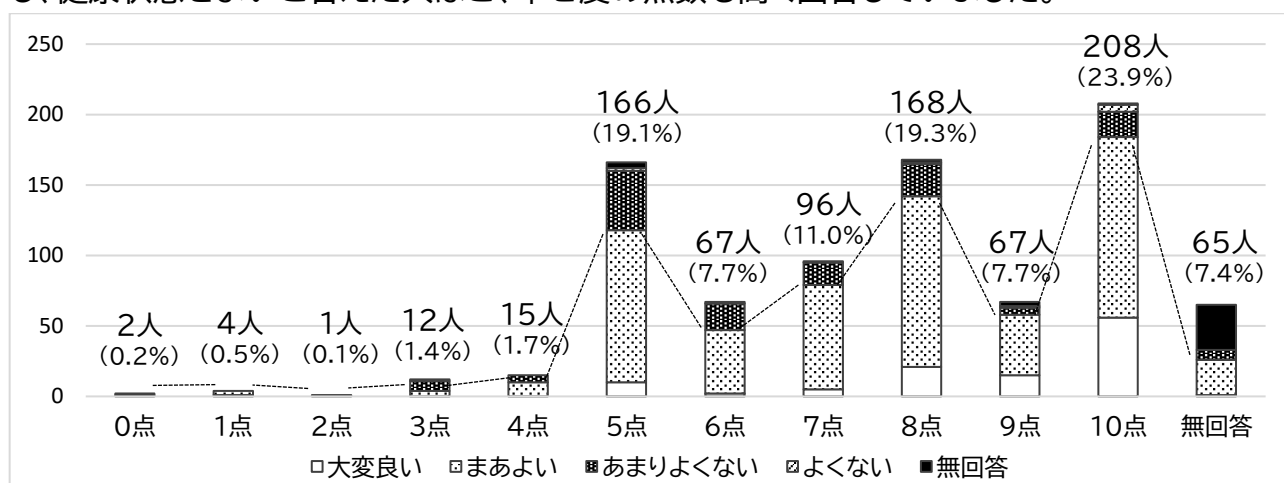


図9 幸せ度(10段階)と健康度

④認知症に関する相談窓口

認知症に関する相談窓口を知っていると答えた方は全体の34.4%でした。身近な相談窓口としての「地域包括支援センター」の役割や医療機関等の専門相談窓口について周知していく必要があります。

今後、第8期介護保険事業計画についてのパブリックコメント(意見公募)を予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

第8期介護保険事業計画策定に向けた
 「在宅介護実態調査」「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査結果概要版
 令和2年8月
 訓子府町役場福祉保健課介護保険係